

エンジンPR活動を支援 湖北高生徒と野末工務店を訪問

**エンジン
PR活動を支援**

浜松湖北高生徒と
野末工務店を訪問

エンジン（浜松市中央
区、藤田源右衛門社長）
は、静岡県立浜松湖北高
校商業課の生徒と協力
し、浜松市内の中小企業
の魅力を発信するPR活
動に取り組んでいる。17
日には生徒3人と共に野
末工務店（浜松市浜名
区）を訪問し、同社の活
動を取材した。

当日は野末工務店か
ら、同社が注力するICT
施工に関する取り組み
や、省人化・高精度・安
全性などの導入効果、新
入社員のスキルアップイ
メージなどを説明。生徒
からは、会社が将来目指
す姿や、日々の作業で気
を付けているポイントな



どについて質問があっ
た。

続いてICT建機やリ
モコン草刈り機の操縦を
体験する機会を提供し写
真。作業の自動化を実感
した生徒らは「建設業に
女性が進出しやすくなっ
た理由が理解できた」と
話していた。

取材内容はエンジンが
運営する「エネフイプロ
グ」や紙媒体などで発信
される。

エンジンは「地域密着型の総合エネルギー企業」として、日々の暮らしを支えるだけでなく、地域の未来を担う若い世代の育成と地域経済の活性化に貢献したいと強く願っております。今回の浜松湖北高校の生徒さんとの取り組みは、まさにその企業理念を体現するものです。

生徒の皆様が野末工務店様のICT施工といった最先端の現場に直接触れ、地元企業の高い技術力や「ものづくり」の魅力を肌で感じていただけたことを大変嬉しく思います。このような実践的な学びの場は、学生の皆様が将来の進路を考える上で貴重な財産となり、ひいては地域社会の持続的な発展や将来的な人材確保に繋がると確信しております。

エンジンは今後も、地元企業と若い世代を繋ぐ架け橋として、地域の魅力を発信し、地域全体が元気になるような活動に積極的に貢献してまいります。

令和8年(2026年)6月29日(月) 建通新聞

